

ねっとわーく

市町村のページ【シリーズ：特色ある公民館】

- ・気軽に立ち寄れる公民館づくり～子育て中の若い方から高齢者まで～
……………福岡市金山公民館
 - ・小学生のものづくり体験「竹細工教室」
……………遠賀町中央公民館
 - ・地域の子供は地域で育てよう～けん玉道場と通学合宿～
……………朝倉市立石コミュニティセンター
 - ・社会参加の意識が高まる生涯学習－生涯楽習講座の取組から－
……………上毛町中央公民館
- こちら県公連
- ・第59回福岡県公民館大会報告

平成27年 1月 公民館情報通巻130号

発行 福岡県公民館連合会

〒812-8575 福岡市博多区東公園7-7
福岡県教育庁教育企画部社会教育課内
TEL 092-643-3887 FAX 092-643-3889

シリーズ：特色ある公民館活動



布ぞうりでリサイクル教室：上毛町中央公民館

気軽に立ち寄れる公民館づくり

～子育て中の若い方から高齢者まで～

福岡市金山公民館

金山校区は、なだらかな丘陵地に広がり、その頂に公民館と小学校があります。西側にはUR金山団地・UR分譲・松山一丁目・松山二丁目の4町、東側には友丘四丁目・五丁目・六丁目の3町で裾野を形成しています。高齢化率は城南区では最も高く、山坂が高齢者には少なからず負担となっています。小学校は児童数減少によって小規模校となるなど、少子高齢化が顕著な校区です。

そこで公民館では、日頃公民館を利用されない方や行き来が困難な高齢者のために、活動の啓発に繋がればと、出前講座として「健康お届け便」や「人権講座」を各町内の集会所で開催しています。会場では来場者と職員との初めてとなる出会いなど、大きな喜びと、今後への期待が広がります。



また、平成25年度には校区社会福祉協議会、TSUTAYA、ボランティアの皆さんに協力をお願いし、子育て中の方や引きこもりがちな高齢者が、三々五々気軽に集えて語り合える「おためしカフェ」を開催したところ大好評でした。平成26年度は校区自治協議会にもご協力をいただきながら「カフェたまり場」として、小中学生にも参加できるような夏休み企画や、皆さんが気軽に楽しめる

新しい試みに挑戦しながら、年間6回の実施を計画しています。

なお、「地域が子どもを育む」との思いから、例年小学校と連携しながら実施している「20kmかち歩き」や、子どもを対象に企画した、お楽しみ広場「天体観測会」や「キャンドルナイト」には地域からの参加が多く、特に昨年のかち歩きには中学生も随行するなど、異世代間交流の場となりました。

これからも、創意工夫を凝らしながら、地域や学校と共に、公民館の役割を果たしていきたいと思います。



《1月のキャンドルナイト》



《2月の「かち歩き」》



《7月の天体観測会》

所在 〒814-0112 福岡市城南区友丘六丁目9番36号

電話 092-801-2830 FAX092-801-5149 メール kanayama96@jcom.home.ne.jp

ブログ <http://blog.zaq.ne.jp/kanayama-ko/>

小学生のものづくり体験「竹細工教室」

遠賀町中央公民館

【施設概要】

地域住民による様々な活動、舞踊や民謡等の芸術活動の定期利用が多くあります。町の事業としては、地域住民の学習意欲に応えるための各種講座を開講しています。

【事業概要】

次世代を担う子どもたちが公民館に親しめるように、夏休みと冬休みに小中学生向けの夏休み・冬休みわくわく教室を企画しています。子どもたちに、ものづくりの楽しさを実感するとともに、他校や他学年の児童たちとの交流の場となっています。

【事業内容】

夏休みわくわく教室の「竹細工教室」について紹介します。

遠賀町は遠賀川という一級河川沿いの水と緑の豊かな町で、材料となる竹がすぐに手に入る環境ということもあり、ボランティア指導者を迎えてこの教室を開講しています。平成26年度は7月29日に小学生4～6年の16人が参加し、昆虫や竹とんぼを作りました。リピーターとなって、毎年参加している児童も多数います。



昆虫と竹とんぼ作りでは、まず指導者が実演するのですが、それを見る児童たちは真剣そのもので、待ちきれないということが目を見ればすぐにわかります。



昆虫づくりでは、竹をあぶり色付けしたり、柔らかくして曲げたり、足の角度や羽の形を調整したりと、熱心に挑戦しました。最後にニス塗り本物そっくりの質感のカブト虫やクワガタができました。

切り出しナイフを初めて使用する児童も多かったのですが、竹とんぼづくりでは、全員無事に竹を削り、思い思いに色付けをして竹とんぼを完成させました。中には飛ぶかどうか不安なものもありましたが、竹とんぼを完成させた児童の満足気な表情が印象的でした。

【ボランティア指導者】

指導者の方は、すべてボランティアで対応していただき、材料の調達についても自らが竹を切り、必要な材料や道具を準備します。

今回指導者となった方は「自分の遊び道具を自分で作成する機会が減少しているなかで、このような体験は非常に有意義である。本当は子どもたちで山から竹を切るところから始めさせたい。」と考えておられます。

【今後の役割】

公民館でこのような教室を実施し、地域の伝統文化の継承に貢献することは大事な役割だと考えています。地域の皆さんの協力を得ながら、さらに魅力あふれる公民館となるよう努力しています。

また、今後も続けたい講座ではありますが、指導者が高齢化しているのも現実で、後継者の育成をしなければならないという課題もあります。

問い合わせ先 : 遠賀町中央公民館 TEL093-293-1355

FAX093-293-5533

地域の子どもは地域で育てよう～けん玉道場と通学合宿～

朝倉市立石コミュニティセンター

＜地域概要＞

朝倉市の中心部に位置する立石地区は、人口 10,402 人(市全体人口 56,292 人)と市内で一番人口の集中する地域であり、高齢化率 19.9%、子育て世代の多い地区となっています。このため、地域全体で子どもたちを育てようという意識が強く、地域行事やコミュニティセンターにも子どもの姿が多くみられます。

＜けん玉道場＞

「子どもたちにゲームをさせないためにどうしたらよいか。」という母親たちの切なる声から生まれたのが、立石けん玉道場です。第 2・4 土曜日の午前中、幼児から大人まで世代を超えて切磋琢磨しています。平成 20 年に開始し約 250 名の在籍者のうち 18 名の有段者を輩出しました。今では、一期生(高校生)が戻ってきて、指導をしてくれています。



＜通学合宿＞

- ・長期間、共同生活を送ることをとおして、生活する技能や自立心を高めます。
- ・自分を見つめ直したり、人とのよりよい関わり合い方、あるいは、家庭や家族の大切さに気づいたりする機会とします。またそのことにより協調性を育みます。
- ・様々な方に関わっていただくことにより、子ども達と地域の方々との結びつきを強めます。また、地域の方々の青少年育成への関心を高めます。



以上の目的のために、立石コミュニティ協議会・青少年育成部会・立石地区青少年育成協議会が主催となって、平成 21 年度から通学合宿を取り組んでいます。

通常、通学合宿事業は 4 年生以上を対象として取り組まれている地域が多い中、当地区は 1 年生から対象として事業実施しています。いろいろ大変なこともあります。縦のつながりが生まれ、これから先の地域を担っていく子ども達の心に、地域のリーダーとしての自覚が芽生えることを期待しながら活動しています。



問い合わせ先: 朝倉市立石コミュニティセンター
電話/FAX: 0946-22-2101
e-mail: tateisi-com@city.asakura.lg.jp
blog: 「にこにこ立石コミュニティ」

社会参加の意識が高まる生涯学習

－生涯学習講座の取組から－

上毛町中央公民館

地域における生涯学習の推進にあたり、生涯学習の体制を支える指導者やボランティアスタッフなどの“サポーター”の存在が不可欠です。このことから、平成20年度から新たなサポーターの養成・登録や既存のボランティアなどの団体への登録を推進しています。

生涯学習サポーターは、町の行事やスポーツ大会等に企画・運営スタッフとして協力したり、学校や課外授業、生涯学習講座の他、地域の生涯学習の場に指導者等として活躍する人材と定義しています。

例えば ○学校におけるクラブ活動の指導 ○生涯学習講座等の講師
○キャンプなど野外活動の指導
○各種スポーツ大会やイベント等への協力 など

“自分のできること”知識や経験、やる気を地域に生かしてもらえる方を募集しています。

●登録状況

登録者数：17名（男性10名、女7名、うち団体登録者数3名を含む）

登録者区分：指導者登録15名、スタッフ登録2名

●活動状況（平成26年度までの実績）

『生涯学習講座』～私が講師、講座～¹において「フラワーアレンジメント教室」や「はじめての俳句教室」「布ぞうりでリサイクル教室」などを開講しました。

平成22年度から生涯学習サポーターを対象に、ボランティアとしての必要な知識などを習得するため「生涯学習サポーター養成講座」を開講しました。翌年度からは生涯学習サポーターやボランティア活動に意欲と関心のある町内在住の方を対象に「生涯学習ボランティア入門講座」を開講しました。

講座は地域活動に興味はあるが、きっかけがなく活動に至っていない住民や、今の活動をより広げたいと思っている住民を対象にして、地域の課題のを見つけ方から活動計画の策定、実践活動までを体験を通して学びました。

平成26年度は課題をより具体的に明らかにするために、受講者に地域活動を計画・実践してもらい、年度末には実践を通して明らかになった課題を持ち寄って話し合う機会を設けます。この積み重ねにより、講座の内容をより実践力のあるものへと充実させていきます。



はじめての俳句教室



布ぞうりでリサイクル教室

¹ 1回限りの“お試し”講座として行い、受講者のアンケート結果や講師の意向をふまえて複数回にわたり開講する一般講座へ移行します。

〈問い合わせ先〉 上毛町教育委員会 教務課 社会教育係

築上郡上毛町大字垂水 1321-1 TEL 0979-72-3111 FAX 0979-84-8021

第59回福岡県公民館大会報告

第59回福岡県公民館大会が平成26年7月31日（木）、クローバープラザ（春日市）大ホールにおきまして、県内各地から公民館に関わっている978名の方々に参加いただき、盛大に開催することができました。

近年、少子高齢化や都市化の進行、情報化の進展、さらには市町村合併など、社会情勢が大きく変化する中で、これからは公民館を地域コミュニティの拠点として位置付け、多様な人々が集い、学習することなどを通じ、多様な主体によるネットワークを構築することが求められています。

そこで、県内の公民館関係者・コミュニティ施設関係者が一堂に会し、公民館として果たすべき役割等について理解を深めることにより、今後の公民館活動の一層の充実・発展に資することを趣旨として、本大会を実施しました。



会長挨拶

大会式典の表彰式では、地域の公民館活動の振興に顕著な御功績があった34名の公民館役職員の方々と、公民館運営並びに事業において、顕著な功績のあった公民館1館に対しまして、福岡県公民館連合会から表彰を行いました。表彰を受けられた皆様には、これまでの御尽力に対しまして、心から敬意を表します。



表彰式

「公民館は永久に不滅です！」と題して、愛媛県新居浜市市民部長の関福生氏に御講演いただきました。自らの実践をもとに『「公民館は永久に不滅です！」と自信を持って言うための10の私案」を提示され、「“公民”が育てば“幸民”になる」など今後の公民館運営における新たな視



関氏による講演

点となるお話をいただきました。

また、「地域の活性化に向けた公民館の役割」をテーマに、九州女子大学教授の大島まな氏をコーディネーターとして、①講演師の関福生氏、②宇美町原田下区の坂本武男氏、③久留米市三潞校区まちづくり振興会 青少年育成部会長の花田正嗣氏に御登壇いただき、インタビュー・ダイアログを行いました。登壇者はそれぞれ、①地域主導型公民館による新しい地域づくり組織への挑戦、②中学校と連携した地域の交流活動、③高校生や大学生と連携した体験活動、といった実践を発表し、意見を交流しながら参加者からの質問等にもお答えいただきました。最後に大島まな氏によるまとめがあり、参加者された皆様には今後の公民館活動に向けてとても参考となるものでした。



インタビュー・ダイアログ

本大会を開催するに当たっては、特に、筑紫地区の関係者の皆様の御尽力により成功裡に終えることができました。また、参加者の皆様の御協力によりスムーズな運営ができました。

来年度は、岡垣町において県大会を行います。参加された皆様からいただいたアンケートの結果等を十分にふまえ、さらなる大会運営の改善に努めてまいりますので、今後とも公民館活動の充実・振興のために御尽力いただきますよう、よろしくお願ひします。



クローバープラザ大ホール